

取り組んだ テーマ	『不登校等の課題に向けたSSWの取組』
--------------	---------------------

1 達成に向けた手立て
・アセスメント ・プランニング ・校内体制構築 ・関係機関連携

2 取組の成果と課題	
成 果	課 題
■アセスメント ＜取組＞ 家庭連絡票 保険連絡票 担任からの聞き取り 小学校からの申し送り（養護教諭・生徒指導主事） 本人面接 保護者面接 ＜成果＞ BPSモデルでの把握ができる ■プランニング ＜取組＞ 不登校支援会議（資料を誰が作成するか） データは各役割が入力し、会議はタブレットを見ながら行う。 紙媒体で全職員回覧する。 ＜成果＞ 情報共有ができる。 ■校内体制構築 ＜取組＞ 小学校：夏休みに「問題解決型ケース会議」の演習を校内研修で行った直後に、ケース会議を行った。 中学校：不登校支援会議の他、定期的に行われる支援会議などに出席した。 ＜成果＞ 役割分担が明確になる。 ■関係機関連携 ＜取組＞ 重層的相談体制の定期的会議に出席した。 要対協のケース会議に出席した。 小学校で関係機関を集めてケース会議を開催した。 主任児童委員と連携した。 不登校の保護者と本人に校外の情報提供を行い、民間機関と連携した。 ＜成果＞ 情報の厚みができる。 地域の資源を活用することができた。 本人の選択肢が増える。	＜課題＞ 内容が正確でない部分がある。資料や面接や聞き取りなどで時間がかかる。 ＜課題＞ 会議の参加者が揃いにくい。（SSW、SC、養護教諭など） ＜課題＞ 小学校の教諭との連携の時間を取りにくい。 ＜課題＞ 地域によっては、子どもに対して関心が薄かったり、社会資源が乏しかったりする。

3 次年度に向けて
・全国児童生徒不登校数（令和5年度）が35万人に迫る数になっている。不登校に対する取組は今後も重要なことである。校内だけでなく、校外での関係機関との連携は大切なので、今後も進めていく必要がある。